

# 星座はめだつ星から覚えていこう

## ★春の星座★

北東の空には、おおぐま座の北斗七星(ほくとしちせい)が高くあがって、春の終わりから夏の終わりまで北極星の道しるべとなっている。



## ★夏の星座★

北から南へながく夏の銀河(ぎんが)が姿をあらわし、大きなひしゃくの形をした北斗七星(ほくとしちせい)は、天頂(てんちょう)近くまであがってすぐ目につく。



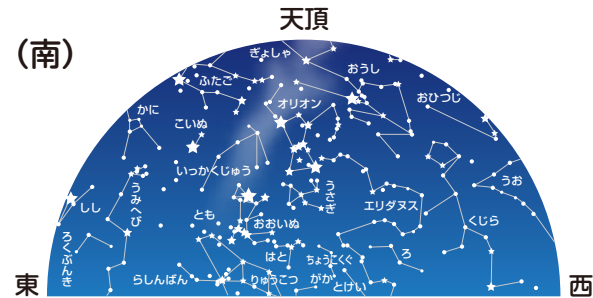
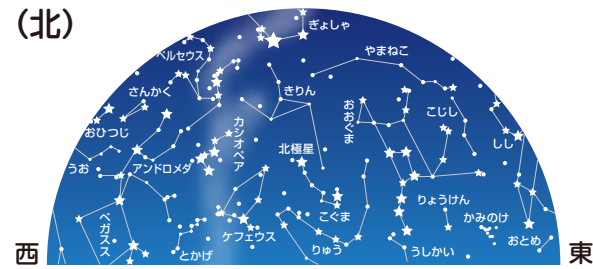
## 天頂(てんちょう)



## ★秋の星座★

北東から南西にかけて銀河(ぎんが)が横ぎり、天頂(てんちょう)近くには織女星(しょくじょせい)が強く光っている。はくちょう座やわし座は、秋がもっとも見やすい。

## 天頂(てんちょう)



## ★冬の星座★

北斗七星(ほくとしちせい)は北に低くさがって見えにくくなり、反対にカシオペア座が天頂(てんちょう)近くதாகあがっている。オリオン座が赤い色でよくめだつ。